北信地域障がい福祉自立支援協議会　議事録

部会名	開催日時
そだちネットワーク部会　第１回	令和８年４月２２日（水） １５：３０～１７：００

参加者所属機関名等　飯山支援学校・北信保健福祉事務所・中野市・飯山市・山ノ内町・木島平村・栄村
野沢温泉村・事務局（北信圏域障害者総合相談支援センター　ぱれっと）

本日のテーマ、課題等

（１）　全体共有　（２）各ＷＧでの検討（３）運営委員の承認　（４）年間の日程について　（５）その他

（１）全体共有

①部会長・副部会長の承認

部会長：飯山支援学校　渡邉校長　　副部会長：飯山支援学校　佐々木教頭

②第７期障害福祉計画・第３期障がい児福祉計画について、自立支援協議会 組織図等の確認

北信地域障がい福祉自立支援協議会の構成と、第７期障害福祉計画・第３期障害児福祉計画の関連について事務局より説明。

③そだちネットワーク部会について

事務局より今年度の部会の方向性について説明。

- 昨年度からの引き続きで暫定的にスタートしていくが、今年度は部会の目的は変えずに、３つの柱（WG）の検討課題は地域の実情を踏まえながら変えていくという新しい視点も加味しながらすすめていく。
- 部会の開催回数や開催方法も実情に合わせながら行っていくことも視野も入れ検討していく。例えば部会の全体共有の場と WG の開催を切り分けて、WG の回数を増やしてより有意義な検討の場を設けても良いか。
- 発達障がい支援フォーラムについては今年度若しくは来年度に実施していく方向で検討中。“発達障がい”に限定するのではなくなく、子育てに困り感をもっている家庭に向けた内容にしていきたい。
- 昨年度、発達障がい支援フォーラム実行委員会の中で作成したリーフレットは今年度、各関係機関等々で配布や動画視聴を実施または実施予定。今年度もリーフレットや動画の活用方法を随時検討していく。

④飯山支援学校特別支援教育連携協議会

令和８年度の開催予定や研修内容（IIYAMA☆まなびフェス）等を飯山支援学校事務局より説明。

（２）各 WG での検討

今回の WG では、今年度の部会や各 WG の方向性や検討課題等に対して意見を出し合ってもらった。

①子どもの支援 WG　＜リーダー：櫻沢主任指導員＞

- 昨年度までは学校寄りの内容のテーマになっていた。今後は福祉の課題があれば取り入れたり、幅を広げていってもよいか。反面、この WG は各市町村の教育委員会の関係者が多いので、メンバー構成ならではのテーマでの討議を行いたい部分もある。
- ただ、昨年までの検討議題に関しては最後までかたちにしていきたい。
- 学びの場の判断については、保護者が理解しやすい説明資料の作成を実現したい。

②家族の支援 WG　＜リーダー：日台家庭児童相談員＞

・中野市単独事業であるダウン症児親の会（子ヤギの会）に関して中野市からの情報共有を行った。今後はダウン症児親の会の存在が北信圏域全体のニーズ（課題）として引き続き検討していく。

・今年度の部会については部会の全体共有の場と WG の開催を別に設けていくことで WG が今以上により有意義な場となりそうな半面、参加者の日程調整が難しくなる可能性がある。

③ネットワーク充実 WG　＜リーダー：山屋家庭児童相談員＞

・北信圏域内のネットワーク（つながり）やツールについては出来てきている。ネットワークについての検討課題については各市町村の困り感に差もあり、共通の課題を抽出することの困難さはあった。

・WG 内ででた課題が北信圏域全体としての検討課題なのかも疑問な部分があった。今後はテーマを先に決め、そのテーマに沿った関係者を招集する方がより有意義な WG の場になるのではないか。

・毎年小学校、中学校、高校に配布している相談窓口一覧表を今年度も配布する。

（3）運営委員の承認

部会長・副部会長・各 WG グループリーダー

（4）年間の日程について

５／７（木）の運営委員会にて検討予定。開催日時が決定した段階で全部員に周知する。

（5）その他

会場となる木島活性化センターの使用可能時間は 17：00 までとなっている。時間厳守の使用と部会終了後の速やかな退出を再確認した。